系統豚の組合せによる加工向枝肉の検討

大木場　格・*花田　広・**甲斐勝利・永山力雄
（宮崎県畜産試験場川南支場・*東臼杵農林振興局・**宮崎県畜産試験場）

Itaru OHKOBA, Hiroshi HANADA, Katsutoshi KAI and Rikio NAGAYAMA : Efficient Crossbreeding of Different Strains Suitable for Processed Pork Products

豚肉の需要は精肉が伸び悩み加工用豚肉の消費が増加しているが，加工用豚肉の多くは輸入に依存しているのが現状である。一方，我が国では，豚の品種，飼料及び飼養管理も主として精肉を目的とされており，加工用豚肉の生産に関する研究は数少ない。さらに，本県で飼養されている品種も精肉向けであり加工用素材としては，さらに資質をより向上させる必要がある。そこで，加工に適する品種とされているデンマーク系ランドレースのサクラ301種（以下L'）と本県で造成されたハマユウL（以下L），ハマユウW（以下W）及びハンプシャー種（以下H）を交雑し，産子の加工用豚肉としての適性を調査し加工用豚肉の生産方式を検討した。

１．試験方法

試験豚の品種，頭数及び試験期間は第１表のとおりである。試験は生体重約30kgより開始し，60kgまでTDN 77.0%，DCP14.0%の前期飼料を，以後TDN77.0%，DCP13.5%の後期飼料を不断給餌した。飼料は即日全面切り替えとし，同性豚５頭を前期は2.0m×3.4mの豚房で，後期は4.0m×3.4mの豚房でそれぞれ群飼で行い，その他は当場の慣行に従った。生体重約100kgで一日絶食後湯剥ぎ法により屠殺し，24時間放冷後豚産肉能力検定に準じ，発育，と体形質，ロース部の測定，バラの評価等を実施した。

２．結果及び考察

発育成績は第２表に示したとおりである。開始日齢はL' L区，×L' H区及びL' WW区が早く，L' L' 区及びL' LW区が遅く，終了日齢も同様な傾向がみられた。D×G（１日増体重）はL' H区及びL' WW区がそれぞれ770ｇ及び793ｇと良好で，L' L' 区及びL' L区が688ｇ及び692ｇと劣った。飼料要求率はL L' 区が3.27と悪かったが，他の区は3.0前後と良好であった。

と体系質は第３表のように，屠体長，背腰長Ⅱ及びロース長は品種の特徴が明瞭で，L' L' 区＞L' L区＞L' W区＞L' LW区＞L' WW区の順に長い傾向がみられ，L' H区が最も短かった。背脂肪はL' L' 区及びL' H区が薄く，L' W区及びL' WW区が厚かった。ロース断面積は，L' H区及びL' WW区が大きく，L' L' 区及びL' L区が小さい傾向が認められた。

ロース部の測定とバラの評価は第４表のとおりで，バラの長さはL' L' 区が長く，L' H区及びL' WW区が短い傾向がみられた。また，L' LW区及びL' WW区においてバラの広さが狭くなると同時にその形も変形する傾向がみられ，生体における脇部のくびれと一致していた。豚産肉能力後代検査法によるバラの評価は，各区とも雌の値が78.0以上で評価が高く，去勢の評価が劣った。これは去勢では筋間脂肪の蓄積が著しいと同時に皮筋の厚さが薄かったためである。しかし，L' L' 区は去勢においても評価が高く，性別の差が小さい良好な結果であった。品種の組合せでは，ハマユウL及びH種よりもハマユウW種の方がバラの評価は高い傾向であった。

以上のように，加工用豚肉としては交雑種に占めるサクラ301種の血液の割合が50%以上必要でないかと推察された。さらに，今回はバラの三枚肉として重要な皮筋の厚さは発育とは相関が低く（前期DG0.170，後期DG −0.393，全期DG −0.193）遺伝的影響が大きいと思われた。

第１表　試験設計及び試験期間

区(品種)	去勢	雌	計(頭)	試験期間
L' ×L'	5	5	10	1986年10月13日
L' ×L	5	5	10	〃
L' ×W	5	5	10	1987年３月12日
L' ×H	5	5	10	1987年10月14日
L' L×W	5	5	10	〃
L' W×W	5	5	10	1988年２月22日

第２表　試験豚の発育

品種＼項目	体重(kg) 開始	体重(kg) 切替	体重(kg) 終了	日齢(日) 開始	日齢(日) 終了	一日平均増体量(g/日) 前期	一日平均増体量(g/日) 後期	一日平均増体量(g/日) 全期	飼料要求率 前期	飼料要求率 後期	飼料要求率 全期
L' ×L'	25.2	61.0	103	82.0	188	680	698	688	2.41	3.37	2.95
L' ×L	32.2	60.0	99	76.1	175	723	673	692	2.66	3.71	3.27
L' ×W	30.3	61.1	100	77.9	180	701	707	700	2.66	3.44	3.10
L' ×H	29.6	60.4	100	75.9	170	738	801	770	2.55	3.40	3.02
L' L×W	28.8	59.0	99	83.1	183	799	718	710	2.43	3.33	2.94
L' W×W	28.4	59.7	101	76.3	168	818	780	793	2.39	3.40	2.94

第３表　試験豚の屠体成績

品種	屠体長(cm)	背腰長(cm)	ロース長(cm)	屠体幅(cm)	冷屠体重(kg)	歩留り(%)	ハム割合(%)	背脂肪(cm) カタ	背脂肪(cm) セ	背脂肪(cm) コシ	背脂肪(cm) 平均	ロース断面積(cm²)	腎臓周囲肥肪(g)
L'×L'	100.3	73.7	56.6	34.4	69.6	71.9	32.7	3.10	1.33	1.99	2.14	18.8	712
L'×L	98.7	71.4	54.6	34.6	70.1	73.5	34.2	3.06	1.37	2.30	2.24	18.5	776
L'×W	97.4	71.1	54.5	34.8	71.0	73.8	32.1	3.29	1.54	2.20	2.34	21.4	887
L'×H	94.6	68.8	52.3	34.9	71.2	74.3	33.5	2.73	1.42	2.12	2.09	22.2	574
L'L×W	95.5	70.4	53.6	34.4	71.7	74.9	33.1	3.08	1.47	2.32	2.29	21.9	582
L'W×W	95.1	70.2	53.2	34.2	72.1	74.9	32.6	3.45	1.66	2.33	2.48	22.0	488

第４表　ロース部の測定とバラの評価

品種＼項目	バラ重量(kg)	ロース重量(kg)	バラ前幅(cm)	バラ後幅(cm)	バラ長さ(cm)	皮筋厚さ(cm)	バラ厚さ(cm)	バラの評価 肩切断面	バラの評価 背腰断面	バラの評価 全体
L' ×L'	4.70	7.13	19.0	16.7	53.3	5.10	2.50	80.4	78.6	79.0
L' ×L	4.92	6.90	19.4	18.2	51.4	5.38	2.10	77.2	76.2	76.8
L' ×W	4.63	7.34	20.4	19.6	50.2	5.02	2.65	78.4	77.2	77.4
L' ×H	4.09	7.39	18.5	18.0	47.8	5.39	1.65	78.2	78.0	77.0
L' L×W	3.90	7.84	16.6	12.2	51.2	5.41	1.70	79.0	77.2	77.0
L' W×W	3.86	7.97	17.2	16.5	47.9	5.36	2.12	78.4	77.2	77.2